

二〇一九年度 創価女子短期大学 公募推薦入学試験問題

小論文 (国際ビジネス学科)

試験日 二〇一八年十一月十日(土曜日)

開始時刻 午前十時三十分

終了時刻 午前十一時三十分

注意事項

- 一、この冊子は表紙を入れ三ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明などがあつた場合には申し出て下さい。
- 二、小論文はかならず所定の解答题紙の指定されたところに記述して下さい。
- 三、解答题紙の受験番号欄(右端の上下に二か所)には、かならず受験番号を記入して下さい。
- 四、解答题紙への記入は黒鉛筆を、消す場合はプラスチック消しゴムを使用して下さい。
- 五、解答题紙は試験が終了したら、かならず提出して下さい。
- 六、試験室内で配布された問題用紙は、持ち帰って結構です。

問題 次の文章を読み、〔設問一〕と〔設問二〕に答えなさい。解答はすべて解答题紙の所定欄に記入しなさい。

「Tシャツの破壊力」

先月、英高級ブランドのバーバリーが、安売りを防ぐため、日本円にして約42億円もの衣料品などの売れ残りを焼却処分していたというニュースが流れた。「なんでもつたいないことを」。そう思った人は多いだろう。しかし、ここでもう一歩進んで考えてみたい。

世界中の衣料品の売上高は2002～15年の間に1.8倍にも増加(国際NGOグリーンピース試算)。一方、英国のエレン・マッカーサー財団によると、衣服の着用回数は00年代初めから4割近くも減つたという。つまり、ほとんど売られ、ほとんど使い捨てられているということ。いわゆる「ファストファッション」(最新流行を取り入れつつ低価格に抑えた衣料品)の影響が大きいらしい。

夏の初め、あるファストファッションの店へ行くと、入り口に並んでいたのは1枚290円のTシャツ。それも結構おしゃれ。うちのタンスの収納力を考え、「一回着て捨てても惜しくないな」という思いが浮かんだ。買う服が増えれば、その分捨てるしかない。

衣料品の製造、販売、廃棄の過程では二酸化炭素(CO₂)や環境汚染物質が排出される。安くできるのは、発展途上国の安価な労働力を使うから。たぐさんの負担を地球や社会にかけた結果として手に入る1枚のTシャツ。「私一人ぐらいなら」という消費が積もり積もれば、大きな「破壊力」になる。

そんな消費行動を見直そう、という活動が「エシカル消費」だ。エシカルは「倫理的」という意味、どうも取っ付きにくい。「難しく考える必要はない。自分の良心に恥じない常識的な選択をすればいいだけ」と、日本エシカル推進協議会会長の中原秀樹さんは説く。

安すぎたり、素性が分からなかったりする商品を前にして、「後ろめたさ」を感じたら、その商品は買わない。それがエシカル消費の心得だそう。バーバリーのようなブランド品も、商品の「一生」についての情報があれば消費者が選ぶときの基準になる。

中原さんの講演での呼びかけが胸にストンと落ちた。

「空を見上げてみよう。空によって地球の皆が繋がっていることに思いをはせよう。あなたのTシャツを作った人、綿をつむいだ人はどんな人か。それらを想像し、つながりを考えてみよう」

空を見上げて、自分にできることを考えてみたい。

(永山悦子「見上げてごらん…Tシャツの破壊力」毎日新聞 2018年8月20日付 東京夕刊より)

〔設問一〕 この文章のタイトル「Tシャツの破壊力」とは、どんなことをいうのか。1000字程度で書きなさい。

〔設問二〕 本文に述べられている中原秀樹さんの言葉を踏まえて、「空を見上げて、あなたにできること」はどんなことですか。あなたの考えを600字程度で述べなさい。